

# 宮崎県感染症週報

## ■ 宮崎県第14週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は2,460人(定点あたり56.5)で、前週比93%と減少した。

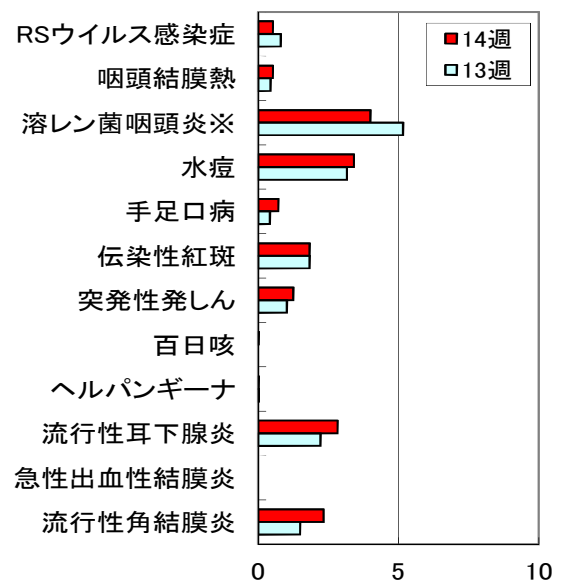
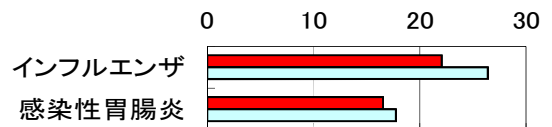
前週に比べ増加した主な疾患は流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症とインフルエンザであった。

流行性耳下腺炎の報告数は102人(2.8)で前週比128%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(1.5)の約2倍と多い。日南(10.7)保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では2歳から6歳で全体の約7割を占めた。

インフルエンザの報告数は1,301人(22.1)で前週比84%と減少した。延岡(34.0)、宮崎市(30.1)保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では5歳以下が全体の45%、6-9歳が32%、10-14歳が13%、15-19歳が1%、20-50歳代が8%、60歳以上が1%を占めた。

マイコプラズマ肺炎3人が都城・延岡・高鍋(各1人)保健所から報告された。患者は2歳と9歳の女兒、2歳の男児で原因菌は *Mycoplasma pneumoniae* であった。

《前週との比較》



定点あたり報告数  
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## □ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年齢分布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
インフルエンザ	30	22.1	延岡(34.0)、宮崎市(30.1)	5歳以下が全体の45%、6~9歳が32%、10~14歳が13%、15~19歳が1%、20~50歳代が8%、60歳以上が1%を占めた。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4.0	延岡(10.8)、中央(10.0)	3歳~5歳で全体の約4割を占めた。
感染性胃腸炎	20	16.6	小林(37.3)、日南(27.7)	1歳~4歳で全体の約6割を占めた。
水痘	7	3.4	延岡(8.5)	1歳~4歳で全体の約7割を占めた。
伝染性紅斑	2	1.8	高鍋(4.3)、宮崎市(3.0)、延岡(2.5)、高千穂・中央(各2.0)	2歳~5歳で全体の約半数を占めた。
流行性耳下腺炎	6	2.8	日南(10.7)	2歳~6歳で全体の約7割を占めた。

- 感染性胃腸炎の集団発生（平成23年4月4日～平成23年4月10日まで）  
感染性胃腸炎の集団発生はありませんでした。

## ■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：報告なし。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例が宮崎市保健所から報告された。5歳の女児で腹痛、血便がみられた。原因菌のO血清型は不明。（VT1産生）。
- 4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：後天性免疫不全症候群1例が延岡保健所から報告された。30歳代の男性で無症候性キャリア。

## ■ 全国第13週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は24.4で、前週比93%と減少した。今週増加した主な疾患は伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

伝染性紅斑の報告数は2,066人(0.67)で、前週比146%と増加した。石川県(2.5)、山形県(1.9)、宮崎県(1.8)からの報告が多く、年齢別では4歳から7歳で全体の約6割を占めた。

インフルエンザの報告数は48,290人(10.0)で、前週比81%と減少した。宮崎県(26.4)、大分県(25.7)、石川県(21.1)からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の35%、6-9歳が32%、10-14歳が16%、15-19歳が2%、20-50歳代が13%、60歳以上が2%を占めた。

### □全数把握対象疾患

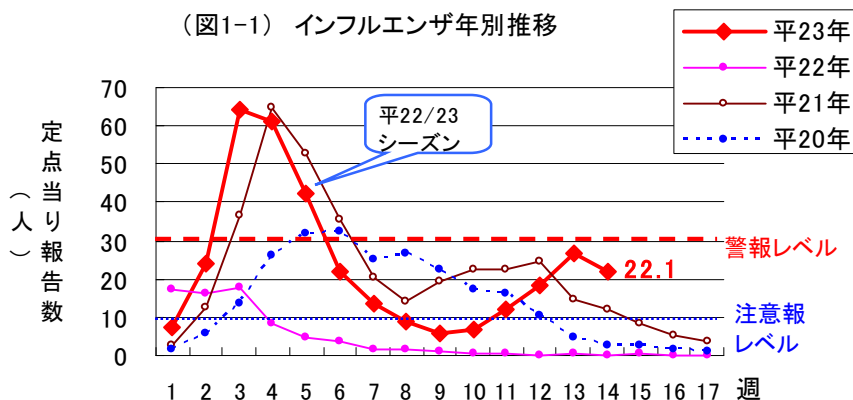
- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核328例
- 3 類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症4例
- 4 類感染症：A型肝炎2例、オウム病3例、つつが虫病1例、デング熱1例、マラリア1例、レジオネラ症8例
- 5 類感染症：アメーバ赤痢6例、ウイルス性肝炎2例、急性脳炎2例、クリプトスポリジウム症1例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群6例、ジアルジア症2例、梅毒10例、風疹4例、麻しん7例

# ■ インフルエンザ情報《県内第14週、全国第13週（再掲）》

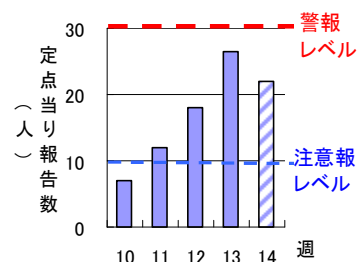
## □ 県内第14週インフルエンザ発生動向

平成23年4月4日～4月10日までの1週間で1,301人（定点あたり22.1）の報告があり、前週に比べ84%と減少した（図1-1,2）。延岡（34.0）、宮崎市（30.1）保健所からの報告が多く警報レベルを超えている（図2）。年齢別では5歳以下が全体の45%、6-9歳が32%、10-14歳が13%、15-19歳が1%、20-50歳が8%、60歳以上が1%を占めた（図3）。

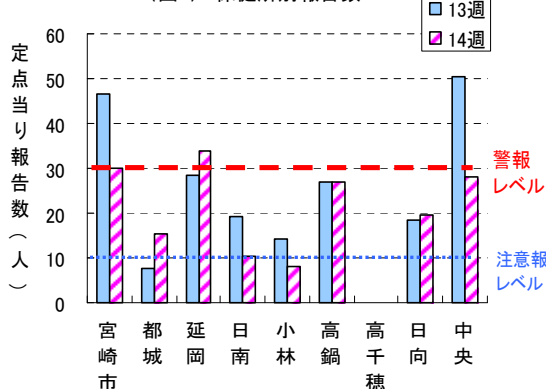
（図1-1）インフルエンザ年別推移



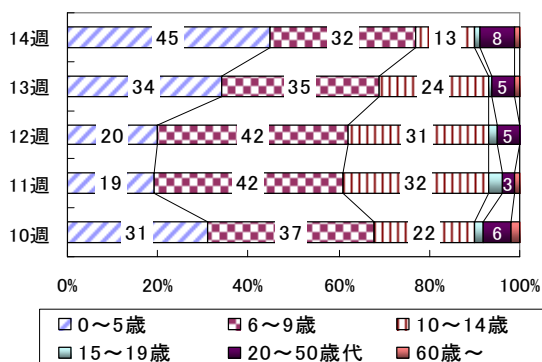
（図1-2）インフルエンザ週推移



（図2）保健所別報告数



（図3）年齢群別の割合（%）



## インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○: 警報レベル、△: 注意報レベル、- 警報・注意報レベルなし

保健所	今週（第14週）		1週前（第13週）		2週前（第12週）		3週前（第11週）		4週前（第10週）		5週前（第9週）	
	4/4～4/10		3/28～4/3		3/21～3/27		3/14～3/20		3/7～3/13		2/28～3/6	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎市	30.1	○	46.4	○	36.3	○	26.3	△	12.6	△	8.5	-
都城	15.4	△	7.8	-	1.7	-	1.3	-	2.0	-	2.1	-
延岡	34.0	○	28.3	△	12.9	△	4.9	-	4.4	-	7.6	-
日南	10.2	△	19.4	△	21.4	△	14.6	△	5.4	-	6.4	-
小林	8.2	-	14.2	△	4.0	-	0.4	-	1.4	-	2.6	-
高鍋	27.0	△	26.8	△	27.5	△	14.3	△	11.3	△	5.7	-
高千穂	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-	1.0	-	1.0	-
日向	19.7	△	18.3	△	7.5	-	2.8	-	1.0	-	3.5	-
中央	28.0	△	50.5	○	22.5	△	30.0	○	23.5	△	12.0	△

## □ 全国第13週インフルエンザ発生動向

平成23年3月28日～4月3日までの1週間で48,290人（10.0）の報告があり、前週比81%と減少した。宮崎県（26.4）、大分県（25.7）、石川県（21.1）からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の35%、6-9歳が32%、10-14歳が16%、15-19歳が2%、20-50歳代が13%、60歳以上が2%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第14週(04月04日～04月10日)

疾病名		第13週	第14週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1558	1301	481	154	238	51	41	162		118	56
	定点あたり	26.41	22.05	30.06	15.40	34.00	10.20	8.20	27.00	0.00	19.67	28.00
RSウイルス 感染症	報告数	29	19	3	2		1			3	10	
	定点あたり	0.81	0.53	0.30	0.33	0.00	0.33	0.00	0.00	3.00	2.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	16	19	2	8	4	3				2	
	定点あたり	0.44	0.53	0.20	1.33	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	186	144	27	21	43	16	6	4	7	10	10
	定点あたり	5.17	4.00	2.70	3.50	10.75	5.33	2.00	1.00	7.00	2.50	10.00
感染性胃腸炎	報告数	639	596	122	101	31	83	112	58	8	66	15
	定点あたり	17.75	16.56	12.20	16.83	7.75	27.67	37.33	14.50	8.00	16.50	15.00
水痘	報告数	114	123	28	16	34	5	1	15		19	5
	定点あたり	3.17	3.42	2.80	2.67	8.50	1.67	0.33	3.75	0.00	4.75	5.00
手足口病	報告数	15	26	9	2	8			5		2	
	定点あたり	0.42	0.72	0.90	0.33	2.00	0.00	0.00	1.25	0.00	0.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	66	66	30	4	10	1		17	2		2
	定点あたり	1.83	1.83	3.00	0.67	2.50	0.33	0.00	4.25	2.00	0.00	2.00
突発性発しん	報告数	37	45	6	8	7	6	5	7		6	
	定点あたり	1.03	1.25	0.60	1.33	1.75	2.00	1.67	1.75	0.00	1.50	0.00
百日咳	報告数		1		1							
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	1			1						
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	80	102	47	3	9	32	4	4		1	2
	定点あたり	2.22	2.83	4.70	0.50	2.25	10.67	1.33	1.00	0.00	0.25	2.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	報告数	9	14	12		2						
	定点あたり	1.50	2.33	4.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	3		1	1			1			
	定点あたり	0.14	0.43	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～14週)

2類感染症	結核	75例			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	11例(1)			
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	2例	
	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎 3例
5類感染症	後天性免疫不全症候群	5例(1)	梅毒	3例	破傷風 2例
	風しん	1例			

●動物感染症累積報告数(2011年1週～14週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	20例
-------	-------------------	-----

( )内は今週届出分、再掲